

中小企業における新型コロナウイルスの影響等

<要旨>

1. 新型コロナウイルス感染症による自社業績への影響について、「悪影響あり」とする企業は78.9%で、前回調査(6月)から3.1ポイント増加した。緊急事態宣言に伴う企業活動の制約が続いており、依然として厳しい状況である。
2. 世界的な木材や金属などの高騰による仕入価格上昇の影響について、「収益に響く」とする企業は56.1%である。業種別では、最も高い建設業で76.1%に及ぶ。

調査時点：2021年9月上旬

調査対象：大阪シティ信用金庫取引先企業(大阪府内)

調査方法：聞き取り法

依頼先数：1,400社

有効回答数：1,305社

有効回答率：93.2%

業種	従業者				計	構成比
	5人未満	5～19人	20～49人	50人以上		
製造業	122社	250社	75社	33社	480社	36.8%
卸売業	54	94	16	5	169	12.9
小売業	73	40	13	8	134	10.3
建設業	70	129	22	1	222	17.0
運輸業	14	34	22	13	83	6.4
サービス業	108	83	16	10	217	16.6
計	441	630	164	70	1,305	100.0
構成比	33.8%	48.3%	12.6%	5.3%	100.0%	-

補足調査

1. 新型コロナウイルス感染症による業績への影響

新型コロナウイルス感染症により自社の業績にどのような影響があるか聞いたところ、「大きな悪影響がある」とする企業は31.0%であり、これに「少し悪影響がある」(47.9%)を加えた「悪影響あり(+)」とする企業は78.9%と、6月の前回調査から3.1ポイント増加した。緊急事態宣言に伴う企業活動の制約が続いており、依然として厳しい状況である。

業種別でみると、「悪影響あり(+)」企業割合は、小売業(89.6%)と製造業(81.4%)で8割を超え、とくに高くなっている。

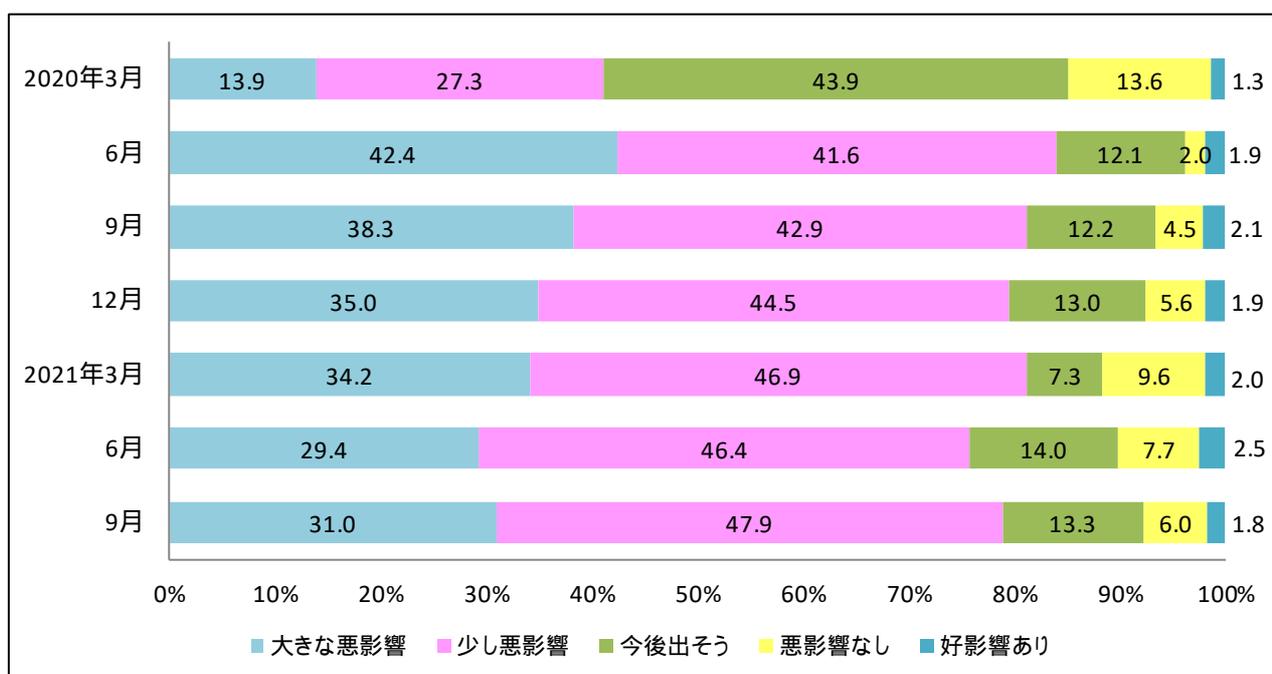
第1表 新型コロナウイルス感染症による業績への影響

(%)

業種等	大きな悪影響	少し悪影響	今後出そう	悪影響なし	好影響あり	計	悪影響あり(+)
製造業	28.9	52.5	11.5	5.2	1.9	100.0	81.4 (79.8)
卸売業	39.6	36.1	15.4	5.9	3.0	100.0	75.7 (77.6)
小売業	64.2	25.4	3.0	5.2	2.2	100.0	89.6 (87.8)
建設業	16.7	59.0	17.1	7.2	0	100.0	75.7 (67.7)
運輸・通信業	26.5	44.6	15.7	8.4	4.8	100.0	71.1 (81.3)
サービス業	24.4	50.7	17.0	6.5	1.4	100.0	75.1 (63.6)
全体	31.0	47.9	13.3	6.0	1.8	100.0	78.9 (75.8)

()内は前回(2021年6月)調査結果

<参考図> 新型コロナ感染症による業績への影響(全体)



2. 仕入価格上昇による収益への影響

世界的な木材や金属などの高騰による原材料・商品等の仕入価格の上昇が懸念されているが、その影響について聞いたところ、「かなり収益に響く」とする企業は(18.8%) およそ2割であり、これに「多少収益に響く」(37.3%)を加えた56.1%の企業が自社の収益に響くとしている。

業種別でみると、「収益に響く(+)」とする企業割合は、最も高い建設業(76.1%)から最も低い小売業(24.6%)まで差異が大きい。また、製造業(62.5%)やサービス業(54.4%)で過半に及んでいる。

第2表 仕入価格上昇による収益への影響

(%)

業種等	項目	かなり 収益に響く	多少 収益に響く	収益には 響かない	計	収益に響く +
製 造 業		17.1	45.4	37.5	100.0	62.5
卸 売 業		13.0	32.0	55.0	100.0	45.0
小 売 業		6.0	18.6	75.4	100.0	24.6
建 設 業		26.1	50.0	23.9	100.0	76.1
運輸・通信業		19.3	24.1	56.6	100.0	43.4
サービス業		27.2	27.2	45.6	100.0	54.4
全 体		18.8	37.3	43.9	100.0	56.1

以 上